

News Release

2016年7月5日

一般社団法人全国重症心身障がい児デイサービス・ネットワーク

三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社

「重度の障がいを持った子どもたちの地域生活白書」を、全国で初めて作成

保護者アンケート、デイサービス事業者アンケートから、重症児の生活実態と課題を浮き彫りに
 デイサービスが「なければ創ればよい」を合い言葉に、全国各地で課題に直面する家族にエールを発信

一般社団法人全国重症心身障がい児デイサービス・ネットワーク(事務局:愛知県名古屋市、代表理事:鈴木 由夫)と、三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社(本社:東京都港区 社長:藤井 秀延)は、「重度の障がいを持った子どもたちの地域生活白書」を、全国で初めて発行したことをお知らせいたします。

〈白書発行の趣旨〉

全国各地に身体・知的に重度の障がいを持った子ども達や医療的ケアなくしては生活困難な子ども達(以下、重症児)が家族に支えられながら暮らしています。このような子ども達が、家族とともに慣れ親しんだ地域で暮らし続けていくためには、医療・看護・教育・福祉といったさまざまな面での身近なサポートが不可欠です。しかしながら、重症児を抱える家族は、必ずしもこうしたサポートを十分に受けていないという実態があります。近年、重症児の生活にとって欠かせないサポートを提供する機能として、重症心身障がい児向けのデイサービス(以下、重症児デイサービス)が立ち上がり始めていますが、依然としてその数は足りていません。

こうした現状を踏まえ、重症児の生活やデイサービスを巡る実態について、重症児の家族や民間事業者、行政をはじめ多くの方々に知っていただき、地域における課題解決を後押ししたいという思いから、本白書を発行することにしました。

〈白書の内容〉

白書では、三菱UFJリサーチ&コンサルティングの協力のもとで実施した保護者アンケート(全国の重症児デイサービスを利用している家族を対象)と事業者アンケート(全国の重症児デイサービス事業者を対象)の結果から、重症児を抱える家族の生活実態や介助にかかる家族の負担を明らかにするとともに、重症児デイサービスを利用することによる家族や子ども自身のメリットや心境の変化などのほか、母親の生の声も多く載せています。

また、事業者アンケートからは、全国の重症児デイサービスの実態やサービス提供状況など、これまで実態が明らかになっていなかった重症児デイサービスの現状が浮き彫りになりました。例えば、家族側にニーズがあるものの、日曜営業している重症児デイサービスはわずか1割程度しかないといった課題や事業者の定員が足かせとなり、キャンセル待ちを余儀なくされる実態などが明らかになっています。

加えて、重症児を持つ家族が自らデイサービスを開設した事例や母親へのインタビューを紹介し、同じような悩みを抱える全国の家族に対するエールを発信するとともに、開設時のポイントなどの参考情報を紹介しています。

〈白書の入手方法・関連情報について〉

白書を入手ご希望の方は、事務局(TEL:052-661-1811 E-mail:jim@jyuday.net 担当:坂部、鈴木)までお申し込み願います。また、下記サイトにて白書に関する情報を随時更新していく予定です。ぜひご覧ください。

URL : <http://blog.canpan.info/daynet-hakusyoy/>

<白書を読む会のご案内>

このたびの白書発行を機に、一般公開イベント『重度の障がいを持った子どもたちの地域生活白書』を読む会」を7月13日に開催します。参加ご希望の方は、jim@jyuday.net（全国重症心身障がい児デイサービス・ネットワーク）まで、①お名前、②ご所属・職名、③ご連絡先となるメールアドレス、をご連絡ください。

日時：7月13日（水）午後7時から開始（午後6時30分より開場）

場所：三菱UFJリサーチ&コンサルティング東京本社 「19階 ANNEX 会議室」

※住所は 〒105-8501 東京都港区虎ノ門5-11-2 オランダヒルズ森タワー

定員：60名（参加費無料）

主催：全国重症心身障がい児デイサービス・ネットワーク

協力：三菱UFJリサーチ&コンサルティング（株）

<白書の発行者・協力者等に関する情報>

三菱UFJリサーチ&コンサルティングによる白書の制作協力は、同社の社会貢献活動「2015年度ソーシャルビジネス支援プログラム」（http://www.murc.jp/publicity/press_release/news_150703.pdf）に基づくものです。同社では、社会課題に取り組む事業者に対して資金提供するだけでなく、シンクタンクらしい社会貢献活動として、研究員・コンサルタントが課題解決を図るために協働する支援（プロボノ活動）を行っております。

白書の発行者：一般社団法人全国重症心身障がい児デイサービス・ネットワーク

- 重症心身障がい児とその家族が地域で普通に暮らすために、主たる対象を重症心身障がい児とする児童発達支援又は放課後等デイサービス事業所、及びそれらの設立を目指す者が、協力・連携してネットワーク事業を行うために設立されました。事務局は特定非営利活動法人ふれ愛名古屋が務めています。
- 設立：2014年11月 代表理事：鈴木 由夫
- 参加するデイサービス数：125事業所（2016年6月末時点）
- 主たる事務所：〒455-0008 名古屋市港区九番町四丁目6番1

白書の制作協力者：三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社

- 三菱UFJフィナンシャル・グループの総合シンクタンクとして、東京・名古屋・大阪の3大都市を拠点に、コンサルティング、グローバル経営サポート、政策研究・提言、マクロ経済調査、セミナー等を通じた人材育成支援など、国内外にわたる幅広い事業分野において多様なサービスを展開しています。
- 設立：1985年10月 代表取締役社長：藤井 秀延 理事長：中谷 巖
- 東京本社：〒105-8501 東京都港区虎ノ門5-11-2 オランダヒルズ森タワー

【本件に関するお問い合わせ】

（白書に関すること）

一般社団法人全国重症心身障がい児デイサービス・ネットワーク事務局 特定非営利活動法人ふれ愛名古屋
担当 坂部、鈴木 TEL:052-661-1811 E-mail:jim@jyuday.net

（ソーシャルビジネス支援プログラムに関すること）

三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社

革新創造センター広報担当 TEL:052-307-1106(杉本)、TEL:03-6733-1005(島林) E-mail:info@murc.jp

配布先 名古屋金融記者クラブ、厚生労働記者会、労政記者クラブ